

ジ ナ タラング フィリピン出身の元カトリック教徒

:

明:彼女がいかに、 で美しい新ライフスタイルを 出したかについて。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: ジ ナ タラング

EB0 Jun 2014

集日 30 Jun 2014

はじめに



このことを明らかにするのは、私にとって なことではありません。なぜなら、 去の私の人生を思い出すことはとても胸の痛むことだからです。しかし、アッラ が私の人生にある今、私は勇 を持つことができます。

慈 遍く慈悲深きアッラ の御名において。

全世界の主、最も慈悲深き 大なる御方、 判の日の支配者であるアッラ に えあれ。 言者使徒の であるムハンマド、そして彼の家族と教友たち、また 活の日までその道に う者たちに平安と祝福あれ。

出身

私はフィリピン カガヤン州の小さな町、リサルの出身です。私は なる宗教を持つ によって育てられ、父 はカトリック信者、母 はプロテスタント信者でした。私はどちらかという父の宗教を好みましたが、以下のような疑 を抱いていたため、 して宗教的とは言えませんでした。

- ・なぜ自らの罪を牧 に告白し、彼から神の赦しを求めてもらわなければならないのか。
- ・なぜ直接神にではなく、 人に祈らなければならないのか。
- ・神はどこにいるのか。神は人 のような存在なのか。
- ・イエスは本当に神の子だったのか。
- ・なぜバイブルには多くの 本があるのか。
- ・死 に私を待ち受けているものは何なのか。

きに渡り、私はただ自分が を浪 しているだけだと感じていました。私は真理と、（神と共の）人生の正しい道を知りたいと っていました。

私が12 の 、父は彼の叔父（私の祖父の兄弟）を した容疑で逮捕 起 されました。彼ら同士の相 に する が原因でした。私は彼がやったのではないことを 信じています。彼らは父が相 することを望んではいなかったのです。

私たちには弁 士を雇うお金がなかったため、父には 役7年の有罪判 が下されました。父は 度が良かったため、5年で 放されました。彼が されている 、私たちの 育は母にとって重荷でしたが、周 には世 を いてくれる良い人たち（母方の叔父と叔母）がいました。

ちなみに、私は5人兄弟（4女、1男）の三女です。 的困 から、私は高校を卒 するに留ま
りました。卒 、私の叔父（父の兄弟）は仕事を探すために私をマニラに れて行きました
た。神の助けにより、私はすぐに本屋で仕事をつけることが出来ました。私は 入の一
部を母に送りました。一年半 、友人の一人が海外で くことを めてきました。

一 、彼女は代理人を 介してくれました。彼らは私の 明 を求めたため、それらをすべて
集めて提出しました。一ヶ月 、彼らは私が健康 断を受けることを求め、神の と慈悲に
より、私はそれに合格しました。2 、私はクウェイトに旅立ちました。

切で思いやりのある雇い主だったことに、私は心から神に感 しています。3年 、私は 料
の 加を求めました。しかし夫人がそうする余裕はないと告げたため、私は の仕事に就
くための解雇を求め、幸いそれは められました。

それから私はハイタン付近のビリヤ ド で仕事をつけました。そこで私はインドネシア
人の、アッラ の信仰者と出会いました。彼女にはとても い信仰心が わっていました。
彼女の信仰心や素振りは、私にイスラ ムのことに する本を ませるきっかけとなりました。

イスラ ムを知らなかった 去の私

私はイスラ ムが、勉 に する程の宗教であるとは思いませんでした。私の友人た
ちの大半はキリスト教徒でしたし、私たちは教会に行ってよく祈ったものでした。空
虚な心の中で、私は神の存在を感じ取ることは出来ませんでした。私は自分を完全に
失っており、そのことは正しい道を探すことにおいて拍 をかけました。それゆえ私は
タガログ 版のクルア ン翻 本を 入したのですが、それを2ペ ジ以上 み めることが出来ませ
んでした。そのため、それを一旦 へと置き、イスラ ムに する本や 子を うことにしまし
た。しかし、独学で理解することを断念し、クウェイトのラウダ地区にある、IPC（イ
スラ ム プレゼンテ ション コミッティ ）を ねてみることにしたのです。彼女らは皆、暖
かく 迎してくれました。それは私にとって初めての、イスラ ムを信仰する女性たちの
集まりとの遭遇でした。自分でも いたのですが、私は自分が完全なよそ者であるかの

ように感じました。それから私はイスラ ム クラスに出席するようになりました。レクチャ の一分一秒、本の一ペ ジずつが、私にとっては 示のように思えました。それは、それまでに感じたことのなかった大きな精神的 足感を私に与えてくれましたが、イスラ ムへの改宗についてはまだ 断し切れませんでした。

改宗日

2004年の6月6日、私はイスラ ムに改宗する 意をしました。私は法廷で信仰 言（シャハダ）を行いました。それは私にとって本当に素晴らしい でした。法廷にいたすべてのムスリムは私を固い握手で 迎してくれました。そのとき、私は自分が正しい道に かれたのだと 信しました。それは、私の人生のなかの最良の 断でした。イスラ ムに改宗してから2年 、私は 妹の 婚式の出席をきっかけにフィリピンに 国しました。

改宗当 の私

他のムスリムたちから く隔たれたその土地（私の故 ）は、私にとっての大いなる でした。私はミニスカ トや半袖ブラウスなどといった、以前の衣服を着ることへの欲求を制御しなければなりませんでした。アッラ は、私たち（ムスリム）が自らの美を（家の中で）夫以外の男性にさらけ出すことを禁じられたためです。

3ヶ月が ち、（ムスリムたちから く れた）その僻地で宗教的な生活をするには非常に 困 なものとなりました。そのため、私は急いでクウェイトに り、イスラ ムについてより多くのことを勉 しようとしてしました。

私はイスラ ムから何を益したか

イスラ ムは私に、ヒジャ ブを着て、イスラ ム的な服装をすることの重要性を理解させてくれました。当初、私はそうすることに抵抗がありました。しかし私は日々の と共にそれに徐々に れ しみ、今ではアバ ヤを身につけている程です。

イスラ ムは、私が家族または友人と共に、外出の に化 をする欲求を らしてくれました。

イスラ ムは、私が自分自身を守り、いかに 行（フィットナ）を阻むべきかを教えてくれました。

イスラ ムは、私に真の意味での 妹 兄弟 を教えてくれました。

イスラ ムは、私が自分自身の行 と思考に慎重を期すようにしてくれました。

最 に

ヒジャ ブやイスラ ム的服装をする信仰者の女性は、天使のように美しいのです。アッ
ラ のために覆い すものは、その を 幅させます。言い えると、女性が身体を すことは、
信仰者の男性にとって魅力が すことなのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2520>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。